

2018年からの計測関係のルール変更について（概略）

- ワールドセーリングは、クラスの管理機能をSCIRAに委任した。
SCIRAは、これらのクラス規則に記載されているように、国内クラス協会に委託。

- 国内クラス協会は、SCIRAによって任命された認証局である。

クラス規則は、現行バージョンのERSと併せて読むものとする。

用語が「太字」で印刷されている場合、ERSの定義が適用され、用語が「斜体」で印刷されている場合、RRSの定義が適用される

①新規建造艇：

- 船体には、クラスによって承認された測定ラベルが表示され、船体番号、測定日、補正重量の位置が示されなければならない。

②ライフジャケット：

- ISO 12402-5（レベル50ニュートン）、USCGタイプIII、またはAUS PFD 1、またはEN 393の乗員の個人用の浮揚装置が装備されていなければならない

③曳船用ロープ：

- 長さ15m以上、直径8mm以上のフローティングタイプのライン。水密タンク内に保管してはならない。

④グースネック長さ：

- マストの後端からブームの接続までのグースネックの長さは42mm
* グースネックサイズ直径13mmの円形の場合、13x13mm正方形の場合
* 2010年1月1日以降に製造されたマストについて適用される。

⑤ブーム側の穴：

- グースネックの最小最大値に接続するためのブームホールサイズ
ラウンドの場合13mm 14mm、正方形の場合13x13mm 14x14mm
* 2010年1月1日以降に製造されたブームについて適用される。

⑥ラッチ：

- マストスパーのバットは、マストステップに安全ラッチまたは任意の代替フィッティングで取り付けなければならない。

⑦ブラックバンド：

- ダガーボードの正面から250×25mm→350mm以上の長さ×最低25mmの高さ
* 各選手への指導は従来通り350mm×25mmを基本とする考えが望ましい

⑧セーフティライン：

- 安全ラインの最大長さは、ダガーボードケースの上部から610mmとする。

- ダガーボードは、レーシング中に常に調整不能な安全シングルラインで艇体に取り付けなければならない
安全ラインは、ダガーボードケースに固定し、ダガーボードにシャックルで固定しなければならない。
* ごみや海草の掃除のための短時間でない限り

